



# チー ム 身 延

学校の理念：「すべての子どもに笑顔があふれる学校を・・・」

身延町立身延小学校  
Tel 0556-62-0066  
Fax 0556-62-0368

## 小春日和でポカポカ！

木枯らしが吹いた翌日は、うって変わって穏やかな陽気に包まれることが多いそうです。まるで春が来たのかと勘違いするような長閑な天気になります。それが「小春日和」です。「小春」は、旧暦10月の異称で、「小春日和」は、新暦の11月～12月上旬にかけて使われます。因みに、冬の季語になっています。これから寒さに身構える中、訪れる不意の陽気にほっとするのは、私だけでなく、誰もがそう思うのかもしれないね。それにしても、日本は四季折々を楽しむことができ素晴らしい国です。



園芸委員の定植後、陽光を浴びるパンジー達

## 地域の方々に支えられて

「アフリカの村では、ひとりの子どもを育てるのに村全体が関わる。」と、以前のお便りに掲載させていただいたことがあります。

山梨県こころの発達総合支援センターの田中所長(小児精神科医)は、地域との関わり的重要性を話されています。子どもたちにとって、まずはベースに家庭があり、学校や地域があって、社会や世界につながっていきます。今は、地域を飛ばして、Web上で社会や世界に一度に向か



1年生：藤田さんの畑でサツマイモ掘り！

って行ってしまふことが心配だと話されていました。地域とのつながりを大切に、地域としっかりと関わった上で、次のステップとして、社会や世界に目を向けていくこと、この一連の過程が大切であるといった話をよくしてください。地域の方々や地域から学ぶことはたくさんあります。

実体験を通した学習活動は、自分で「読む・書く、見る・観察する、作る、触れる・動かす・操作する、演ずる、演奏・合唱、職業体験、議会などの疑似体験」など、多様にあります。

「聞いたことは忘れ、見たことは覚え、したことは分かる」という言葉があります。また、いわゆるラーニング・ピラミッドと呼ばれるものですが、学習による知識の定着率が、講義(聞く)5%、読む10%、視聴覚20%、グループでの討議は50%、体験したことは75%、他人に教えると90%という興味深い報告を目にしたこともあります。

なかなか、コロナ禍にあり地域に根ざした教育がしづらい状況にはありますが、アフターコロナを見据え、今後も地域の皆様とのつながりを大事にした学校でありたいと思っています。



4年生：「大野せせぎ」見学 保坂教育長さんの説明

## 修学旅行を終えて

修学旅行は、小学校生活6年間の集大成として思い出づくりのために行く旅行です。見るもの、聞くもの、触れるものなど、全てが学びです。

6年生には出発前に、「素敵な思い出をつくってくれることはもちろんのこと、学校や地域を飛び出して、いろいろなところで働いている人たちとの出会い、是非その姿を見てきてください。そして働くためにはどんな力が必要になるのかということも見てきてください。」と話しました。沢

山の出会いがあったはず。たとえば、見学先で出会った方々の上手な話し方、旅館やホテルで働く方々のお客さんに対する姿勢、人の命を預かるということで安全に注意して運転する運転

手さん、皆さんを楽しませようとするバスガイドさんや添乗員さん

等々、世の中にはいろいろな仕事があること、そして出会った方々は、きっとその仕事をするために沢山の努力をしてきたので

はないでしょうか。いろいろな人がいます。全てが素敵な方ばかりではなかったかもしれ

れません。実はそれも反面教師（人の振り見て・・・）として大切な勉強だと思っています。「経験こそ宝」全員参加がうれしかったです。



6年：これぞプロ！ガイドさんの巧みな話術



6年：身延小をリードする頼もしい面々！



6年生の旅行中、しっかりと学校を守った5年生。6年生の分担場所を丁寧に掃除の様子！

見て・・・）として大切な勉強だと思っています。「経験こそ宝」全員参加がうれしかったです。

### 身延小見聞録

朝の登校時のことです。正面玄関に立っていると歩道橋を降りてくる6年生の登校班リーダー。よく見ると、手をつないで1年生と降りてくるではありませんか。早速リーダーに話を聞くと、「歩道橋の階段がぬれていて滑りやすくなっているので・・・。」と何気ない言葉。優しさが自然と身についているのですね。低学年を思いやる深い気持ちと、リーダーとしての責任感に触れ、朝から爽やかな気持ちで過ごすことができました。子どもたちから沢山のことを教わりながら日々生活しています。



低学年を気遣う登校班リーダー

### PTA学習会を振り返って

江宮隆之さんの講演に登場する望月カズさん（1927年～1983年）のお話から、人としての生き方（人類愛、人間愛）を学ぶ事ができました。人との出会いが、人生を変えます。望月カズさんは、赤ちゃんの笑顔に触れて人生が変わっていきました。



PTA学習会：真剣に聞き入る参加者

今回の江宮さんの講演を聴くことで、これからの生き方に変化が生まれた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。これからも、たくさんの方々とのご縁を大切にしていきたいと思っています。

**こぼれ話・・・**江宮さんは、教育界でのご功績が認められ文科大臣表彰を受けることになりました。受賞の日、奇しくもPTA学習会の翌日の10月27日（木）でした。ところが文部大臣表彰の出席を辞退・・・。なにか望月カズさんの生き方と重なった気がしたのは私だけでしょうか。

文責 身延小学校 校長 片田幸樹